様式４

審　議　結　果

会　　議　　名	盛人大学運営委員会第２回委員会
開　催　日　時	平成３１年１月２５日（金）　１０時００分から１１時００分
開　催　場　所	川口市立かわぐち市民パートナーステーション会議室３
出　　席　　者	沢田委員長、仲川副委員長 中村(勝)委員、廣瀬委員、小寺委員、飯塚委員 川野課長、買田課長補佐、作田主査、本間主事、坂井主事
議　　題	１　第２回委員会 （１）開会 （２）協議事項 ア　平成３１年度盛人大学受講料について （３）報告事項 ア　平成２９年度卒業生アンケートについて （４）その他 （５）閉会
公開／非公開の別	公開
非公開の理由	―
傍聴人の数	０名
会　議　資　料	資料№１　平成３１年度受講料の算出について 資料№２　平成２９年度盛人大学卒業生アンケート
審　議　経　過	別紙のとおり
そ　の　他	－

審　議　経　過

第２回委員会

１　開会（１０時０５分）

・　事務局から出席委員数が委員定数の過半数に達しているため、盛人大学運営委員会設要要綱第６条第２項の規定により本委員会が成立している旨を報告した。

・　事務局から本会議の公開と傍聴について説明した。

・　事務局にて会議録署名人を選任した。

・　事務局から配布資料について説明した。

２　議事

（1）協議事項

ア　平成３１年度盛人大学受講料について

〇委員長

規定により議長を務める。委員の慎重かつ積極的な審議とスムーズな議事進行への協力をお願いする。２議事（１）協議事項のア　平成３１年度盛人大学受講料について事務局の説明を求める。

〇事務局

１ページの「資料１」をご覧いただきたい。盛人大学各コース受講料については、平成２７年９月３０日に開催した盛人大学運営委員会でご審議いただき、設定に関して基本的な考え方を決定いただいている。その決定内容では、まず、各コースの講師料は、農業コースを除き、２０万円を上限とすることとしている。なお、講師料は１単位、１時間につき１万円が上限となる。順番が前後するが（４）のとおり、各コースの次年度講師料を合算し、その額の８割程度を受講料収入で賄うように設定することとしている。また、（２）と（３）にあるように、受講料の設定は３段階、最低受講料設定額は４，５００円とする

こと。ただし、（5）のとおり大幅な値上げにならないよう配慮すること、以上の５項目である。以上の原則に基づき、設定した案が一番下の３となり、平成３１年度農業体験コース受講料については、昨年１１月２７日に行った第１回運営委員会において、受講料を７，０００円から８，０００円に変更することが既に決定しているので、今委員会では農業体験コース以外の８コースの受講料についてご協議いただきたい。なお、事務局案では８コースの受講料は昨年と変動はない。また、全体の講師料に占める受講料の割合だが、案では８４．１％となっている。以上を踏まえ、平成３１年度受講料についてご協議いただきたい。なお、説明の順番が前後するが、２については、平成２９年度から平成３０年度の受講料の推移状況を記載している。

〇委員長

今の説明について、ご意見・質問はあるか。

〇委員

定員割れはあるのか。

〇事務局

定員割れしているコースもある。昨年の例を挙げると社会起業・ビジネスコースの定員割れが大きく５割ほどであったが、他のコースでは、概ね定員の８割程度は申込がある。

〇委員

状況によっては、講師料に占める受講料の割合が８割を下回ることもあるということか。

〇事務局

その通りである。

〇委員

その分は市補助金の中から賄うことになるのか。

〇事務局

その通りである。

〇委員

定員割れをするからといって安易に受講料をあげるわけにはいかないのか。

○事務局

定員割れを起こさない対策を事務局で検討している。

○委員

定員割れをするということは、そのコースに魅力がないからと言えるのではないか。社会起業・ビジネスコースは起業したい人が申し込むのだろうが、申し込んだ人の想いとコースの内容に乖離があるのではないか。実際に在学中または卒業後に起業した方はいるのか。

○事務局

特に調査はしていないが、起業した方がいるという話は聞いていない。

○委員

昨年度決算の中で、受講料に占める講師謝礼金の負担割合などは把握しているのか。

○事務局

最終的な受講者数によって変動はあるが、概ね予算案どおりとなる。次回委員会時にお示ししたい。

○委員

謝礼の金額で講師が引き受けるかが変わってくると思うがその辺は何か考えているのか。

○事務局

安価な金額で講師が引き受けてくれているという認識はある。

○委員

受講料について、受講生から何か料金について要望などはあるのか。

○事務局

受講料については、高いので下げて欲しいといった値下げの要望は今まで一度もなく、年間の受講料が安価でよいと評価していただいている声は多い。

○委員

受講料に関して、要望等がないのであれば、この案でよいのではないか。

○委員

受講料が年額である旨を募集案内に明記した方がよいのではないか。それが分かれば、安価であることが分かり、応募者の増加につながるのではないか。

○事務局

今後は受講料が年額である旨を記載するようにしたい。

○委員長

他に何か質問はあるか。

○事務局

募集案内の記載のことで、受講料の他に補足の説明をさせていただきたい。来年度よりカウンセリング入門コースの名称が心理カウンセリング入門コースに変更されるので、確認を願いたい。

○委員長

他に質問はあるか。無いようなので、事務局案のとおり受講料を決定する。

○委員

よい。

（２）報告事項

ア　平成２９年度卒業生アンケートについて

○委員長

（２）報告事項のア　平成２９年度卒業生アンケートについて事務局の説明を求める。

○事務局

２ページの「資料２」をご覧いただきたい。資料は、昨年度、平成２９年度の盛人大学卒業生を対象に、平成３０年１２月に実施した社会貢献活動への参加状況に関するアンケートである。こちらは、盛人大学がその目的である「社会貢献活動を行う人材の育成」に

ついて達成しているかの効果を測定するために、平成２８年度から実施しているものである。２ページが卒業生に配布した調査票、３ページが集計結果である。３ページの集計結果をご覧いただきたい。平成２９年度の卒業生は２３８名で、このうち１６５名から回答があり、回収率は６９．３％となっている。このうち卒業から本調査票を配布した平成３０年１２月までの９ヵ月以内に社会貢献活動を行っている方は、設問２のとおり９２名で回答者の５５．８％、行う予定であると回答した方を合わせると１０７人、６４．８％となっている。なお、設問３以降は、既に活動を行っている方のみ回答していただいたものである。盛人大学入学前から社会貢献活動を行っていた受講生が、在学中または卒業後に別の社会貢献活動を始めている場合もあるので、複数回答となっている。参考として４ページに２８年度卒業生のアンケート結果を添付しているので、ご覧いただきたい。卒業生アンケートについては、今後も継続して実施し、盛人大学の社会的な効果を計測する指標としていきたいと考えている。

〇委員長

今の説明について、ご意見・質問はあるか。

〇委員

委員の立場からすれば、ボランティア入門コースを受講した人は１００％社会貢献活動をして欲しいところであるが、アンケート結果を見るとあまり芳しくない数値となっているがこの状況をどう捉えているのか。

〇事務局

事務局としても同感であり、コースを運営しているスタッフや講師に働きかけ、卒業後の社会貢献活動率の上昇につなげていきたいと感じている。

〇委員

アンケートの回収方法はどのようにしているのか。

〇事務局

アンケートに返信用封筒を同封している。

○委員

７０％以上の返信があるのであれば、数字としては悪くないのだが、２８年度の受講生は９０％以上の返信率であるのに対し、２９年度の受講生は７０％となっているのには何か理由があるのか。

○事務局

１月１８日時点での集計のため、その後に回答があったものは含まれていない。

○委員

同じコースでもその年の受講生によって、クラスの雰囲気は異なる。昨年は地域デザインコースが３人であったが、今年度はパンフレット等を工夫して受講生が増えている。講師も受講生の数やコースの雰囲気づくりの要因のひとつとは思うが、大部分は受講生次第と思われる。

○委員

受講者数の推移については、体調不良等で卒業まで受講を継続していけない方もいる。年々受講される方の年齢が高齢化してきているのかもしれない。

○事務局

アンケート調査は２８年度の卒業生から始めているため、年度ごとに比較するとデータに偏りが出ている可能性がある。継続してアンケート調査を行い、全体的な傾向をつかみ対策等を検討していきたい。

○委員

盛人大学について市議会等で議題になっていたりはするのか。

○事務局

特に議題にはなっていない。

○委員

私もコースや受講生によって雰囲気が変わっていることは感じている。コースの雰囲気づくりは実行委員やスタッフも要因となる。実行委員やスタッフが積極的に関わり、雰囲

気づくりをしていってもらいたい。実行委員会でも議題として取り上げてもらいたい。

〇委員

実行委員はどのように選定されているのか。

〇委員

実行委員の元々の目的はコースの受講生が次年度にスタッフとしてそのコースに残り、次年度の受講生のお手伝いをするといったものであった。また、実行委員やスタッフとして社会貢献活動を行って自信をつけた後に、ご自身の独自の活動を始めてもらうといった目的もあった。実際には長く盛人大学に残って実行委員をやっている方もいる。また、カウンセリング入門コースについては、講師の先生が主導して、そこに賛同した方が実行委員として残って運営をしている。全体的には実行委員が主体となっているコースが多いため、実行委員とスタッフが社会貢献活動のきっかけづくりをしていけるようにお願いしていきたい。

〇委員

参考までに実行委員が変わっていないコースをあげると、国際コース、地域デザインコース、郷土・川口再発見コース、社会起業・ビジネスコースである。

〇委員

実行委員中でも特にリーダーといった方もいるのか。

〇委員

その年度で発言力のある方がいると、その方がリーダーとなっていることが多いように思われる。皆を盛り上げ、実行委員の中の雰囲気を盛り上げてくれている。

〇委員長

他に意見や質問はあるか。

〇委員

なし。

（3）その他

○委員長

事務局から何かあるか。

○事務局

その他として、まず別途配布した資料２点であるが、前回の運営委員会にて、加藤委員より川口市の単身高齢者世帯数および割合に関するご質問があったので、事務局で調査し、県内各市町村との比較データや本市の施策をまとめたものである。盛人大学受講生における単身者率については、毎年度末に実施する受講生アンケートにおいて、新たに設問をもうけ調査中であるため、結果が出次第、委員会の際にご報告差し上げたい。また、特に資料はないが、盛人大学のキャンパスとして現在使用している UR の建物は、平成３４年度末をもって取り壊す予定として所管部局より連絡が入っている。今後の運営方法については、事務局で検討し、事務局案を今後の運営委員会でお示ししていくため、その際にご議論いただきたい。

○委員

事務局は現時点でどの程度、実施方法を検討しているのか。

○事務局

具体的な案は現時点でないが、コースや規模を縮小してパートナーステーションの会議室で実施する方法や市内の他の公共施設を利用し、分散して実施する方法などを検討している。他の公共施設と協議してはいるが、他の公共施設において、専用キャンパスの設置は困難であるとの回答は得ており、新たな専用キャンパスの設置は困難であると考えている。

○委員

参考までに盛人大学が旧並木公民館の跡地を専用キャンパスとして利用するに至った経緯を申し上げると、東口には盛人大学キャンパス、西口にはパスポートセンターといった公共施設を西川口駅周辺に設置することで、その地域の活性化につなげる狙いがあったと認識している。現時点で検討されている内容を鑑みると西川口地区の活性化といった観点

が抜けているように思われるため、検討材料の一つとして認識してもらいたい。

〇委員

地域の活性化のためであれば、西川口地域の方で空き部屋を提供してくれる方もいるかもしれない。商店街等とも連携を図り、検討してもらいたい。

〇事務局

検討していく。

〇委員長

その他に質問や意見はあるか。

〇委員

なし

３　閉会（１１時００分）

〇事務局

これをもって、第２回盛人大学運営委員会を終了する。

会議の内容については、以上のとおりです。

平成３１年１月２５日

盛人大学運営委員会委員長　　（沢田委員長署名）

盛人大学運営委員会委員　　（廣瀬委員署名）